

平成 21 年度 帰国隊員/青年支援プロジェクト 実施報告書		提出日	2010 年 10 月 1 日
氏名： 日吉 咲恵	実施国：アメリカ合衆国	海外での研修	
(1) 計画通りに実施されましたか？運営面・経理面での変更点はありましたか？			
<p>計画通りに大学院にて学習を続け、今年で 2 年目になりました。卒業するためには 36 単位必要ですが、予定通り、18 単位を取得し、成績も好調です。また、予定していたキャンパス内にある日本庭園（非営利団体）でのアルバイトも順調に進み、スーパーバイザーとして教育・文化イベントに従事しています。経理面では物価や家賃が想定より値上がりしているため、依然厳しい状態です。</p>			
(2) 実施の結果（良かった点、反省点を含めて）			
<p>当校の公共政策学のプログラムは様々な分野からのエキスパートを講師としても迎えているため、現在どのような問題が実際に起こっているか等、実質的な知識とスキルを身につけるために大変恵まれた環境にいます。また、色々な分野のプロフェッショナルとして活動している学院生が多いため、授業外でも学ぶことが多いです。そして、非営利団体での経験は、授業で学んだことをすぐに実践できたり、そこでの実経験を授業内容に反映できるため、大学院で学びつつ、同時に経験やスキルを向上できるため、大変よい環境にいることに感謝しています。反省点としては、大学院とアルバイトで大半の時間とエネルギーを費やし、地域への支援活動等があまりできていないことです。1 年たった現在、語学や生活も落ち着いてきたので、更なる向上を目指し、地域活動へも積極的に参加していきたいと思っています。</p>			
(3) 異国の参加者同士または本人が相互理解を深めたと確信できた場面は？ または実施事業に対する一般の反響は？「協力活動」「調査研究」「海外での研修」			
<p>協力隊の活動を通して学んだ基本的な協力活動の意味を、大学院では論理から学んでいるため、自身が経験したことを授業内容に反映できたり、また違った角度から視野を広げたりと、新しい発見と知識を身につける毎日です。また、自分自身に欠けていた、経理や予算についての知識やスキルも実践的に学んでいます。また、アルバイトの日本庭園では、現在で約 15 の教育・文化イベントに従事できました。着物についての講義用の教材を準備したり、折り紙祭りの計画・運営に携わるなど、現地の方々と日本文化紹介を通して相好理解を深めることが出来ました。さらに、非営利団体の経営・運営に直接関われ</p>			

ることができ、大学院での授業で学べたことをすぐに実践できたことは、今後の進路でも大変役立つことと思っています。大学院に進学することができ、恵まれた環境で自分自身を向上させ、今後の進路へ活かせることと、そしていずれは社会還元が一地域市民として出来るよう、今後もがんばります。